



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第128号

R5.9.7

文責 中西 勉



家庭科の研究授業 ～自分で自分の生活を快適にする～

昨日、家庭科指導員の阿部祐子先生（福岡中学校）にご来校いただき、5-3と6-1が家庭科の研究授業を行いました。

5-3は「整理・整とんを自分でできるようにしよう」という課題で、各自が自分のお道具箱の中身について、まず、必要なものと必要でないものに分ける「整理」を行い、その後、必要な物を使いやすく見た目も美しく整える「整とん」に取り組みました。この活動を通して、子供たちは「整理」と「整とん」を上手に行うポイントにいくつも気付くことができました。



▲お道具箱の整理・整とん（5-3）

6-1は「気になる汚れを落とすためのよりよい方法を考えよう」という課題で、墨汁がついてしまった布をどうしたらきれいにできるかを自分で考え、8分間でどこまで汚れを落とせるかにチャレンジしました。自分の手で洗濯をし、一生懸命に汚れを落とそうと努力する子供たちの姿から真剣さが伝わってきました。



▲墨汁で汚れた布の洗濯（6-1）

どちらの授業も、今後、子供たちが自分で自分の生活を快適にしていくという点で、意欲的な姿勢や態度を培うことができた価値のあるものになりました。



電子黒板の設置による指導の充実

昨年度、市内の全中学校の各教室に、電子黒板が配備されました。小学校は、今年度と来年度の2年計画で全教室に配備される予定です。

本校では、今年の夏休みに、4～6年の各教室と5・6組、9・10組に電子黒板が設置されました。従来のプラズマテレビ（50インチ）よりも大型の画面（65インチ）を備えており、テレビやモニターとして活用する以外にも、画面に直接文字や図をかき込んだり、画面の情報をそのまま保存したりすることも可能です。今後、授業や学校生活で大いに役立てていきたいです。



▲話し合いの流れの明示（4年・特別活動）



▲写真資料の提示（5年・社会科）



▲動画による運筆の確認（6年・書写）